

令和5年度に開催した歴史講座

令和5年7月17日（月・祝） 「津田永忠遺績之碑と木畑道夫」

明治期に行われた津田永忠の顕彰活動で、中心的な役割を果たした歴史家について。

令和5年8月13日（日） 「国富家文書収蔵のいきさつと渡辺知水」

岡山城下町の惣年寄役を務めた豪商、国富家の文書が当館へ収蔵された経緯について。

令和5年9月10日（日） 「戦後岡山の演劇と上演施設」

戦後の焼跡の中、演劇への熱意が上演施設の建設を促してきたことを振り返りました。

令和5年11月12日（日） 「岡山城下町の豪商と文化」

佐々木家や河本家など、江戸時代の岡山城下で文化に貢献した商人を紹介しました。

令和5年12月23日（土） 「江戸時代の年貢にかかわる資料」

検地帳、耕地図等から年貢徴収の仕組みを解説し、江戸時代の社会を考えました。

令和6年1月14日（日） 「明治時代の地租改正と地図作成について」

明治期に全国で地籍図が作成されましたが、このときの岡山の地図を紹介しました。

令和6年2月11日（日・祝） 「用水路がめぐる岡山の村落と景観」

文学者・坪田譲治が生まれ育ち、作品の背景になった岡山近郊の農村の景観について。

令和6年3月10日（日） 「明治期の画家、岡本常彦について」

歴史家、木畑道夫らと親交のあった画家について、当館の資料を中心に紹介しました。